

部局名	教育委員会	所属名	給食センター	所属長名	吉田 浩二	電 話	482-1650
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3502		事務事業名称	給食センター運営事業						短縮コード	経常	3502	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	学校給食費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		学校給食法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和45年度から開始。児童・生徒の心身の健全な発達を資する為。 市立小・中学校の児童生徒に供給される給食に対し、食材料の一括購入を行うことによって安定した給食の提供されている。 地産地消の取り組みの充実により、食育の推進を図る。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
児童・生徒の増加。食嗜好の多様化。						大項目（節）	01	学校教育						
						中 項 目	02	義務教育						
						小項目（施策）	03	健康・安全の確保						
						細 項 目	04	学校給食の充実						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市立小・中学校の児童・生徒(単独給食校除く)							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ・食材料の一括購入。 ・地産地消の拡大。							
	※平成22年度に計画していること： ・食材料の一括購入。 ・地産地消の拡大。							
意図 （何を狙っているのか）	心身の健全な発達。安全で栄養バランスのとれた給食の提供。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	児童・生徒数	人	13,636	13,832	13,963	14,400	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	年間延給食数	食	2,446,638	2,556,919	2,504,908	2,620,000	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	賄材料費の総費用	千円	601,924	726,992	708,014	717,432	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3502		事務事業名称		給食センター運営事業		所属名		給食センター	
				単位	2 0 年度	2 1 年度			2 2 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円	0	0	0	0	0		
		県		千円	0	0	0	0	0		
		地方債		千円	0	0	0	0	0		
		一般財源		千円	2,367	1,852	3,114	3,327			
		その他		千円	599,558	721,175	704,690	737,943			
	主な事業費の内訳			賄材料費 601,924		賄材料費 723,027		賄材料費 707,804		賄材料費 741,270	
	人件費 (B)			千円	13,059.4	12,775.2	13,383.7	13,383.7			
トータルコスト (A) + (B)			千円	614,984.4	735,802.2	721,187.7	754,653.7				

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由										
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	給食センター運営事業を推進することにより食育・健康・安全の確保している。										
			☐ 結び付くが見直しの余地がある											
			☐ 結びつきが弱い・ない											
			☐ 評価対象外事項											
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	給食賄業務であり，継続事業として児童・生徒の食育・健康・安全を推し進める。										
			☒ 達成していない											
			☐ 評価対象外事項											
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	学校給食法・保健衛生等を基に食材調達しているのがあるので民営化による食材料調達はなじまない。										
			☒ 可能性はない											
			☐ 評価対象外事項											
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。										
			☐ 見直す必要がある											
☐ 評価対象外事項														
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	食材料の地産地消事業等取り入れた給食事業による食育の推進を継続する。										
			☐ 効率性向上の可能性はある											
			☐ 両方可能性はある											
			☒ 可能性がない											
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等											
			☐ 臨時的任用職員等の活用											
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し											
			☐ 受益者負担の見直し											
			☐ 類似事業との統合・役割見直し							類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法									2		
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある											
			☐ ない											

コード	3502	事務事業名称	給食センター運営事業				所属名	給食センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			食材料の地産地消事業等取り入れた給食事業による食育の推進を図る給食事業を継続する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状の賄材料費執行を維持しながら地産地消の充実と進展を図り，事業の向上を目指す。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
センター運営方式について，議会質問あり。									

所属長コメント	「一括購入」「地産地消」の食材料を積極的に取り入れ，各調理場の創意工夫及びバランスのとれた給食献立作成を大切にし，職員及び従事者の意識高揚を指揮，事業の向上を図る。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									